

図書館員のひみつの本棚 第192回

今月は、ほのぼのとした味わいの禅画と、それをモチーフにしたグッズが人気の「博多の仙厓さん」について知ることができる、ジュニア版美術入門書を紹介します。

『国芳と仙厓 浮世絵と禅画-楽しい日本の絵 ジュニア版もっと知りたい世界の美術8』

金子信久／監修 東京美術 2021年 ¥3000(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年★★☆ 小高学年★★★★ 中学生★★★★

高校★★★★ 一般★★★★

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

「ジュニア版もっと知りたい世界の美術」は、各巻ごとに2人の画家を取り上げた美術書のシリーズです。この巻では江戸時代の浮世絵師・歌川国芳と、たくさんの水墨画を描いた禅宗の僧・仙厓義梵を取り上げ、個性の違いを感じられるよう彼らの生涯や代表作を紹介しています。仙厓は江戸時代中期に活躍した禅僧で、博多の聖福寺の住職を長く務めました。「博多の仙厓さん」と呼ばれ慕われた仙厓は、博多の人々との交流の中で、たくさんの禅画を生み出しました。福岡市美術館は仙厓のコレクションを所蔵しており、そのユーモラスな絵を、展覧会やミュージアムショップのグッズで見たことがある人も多いと思います。本書では、国芳と仙厓の絵を鑑賞したり、見比べたりするとともに、「クイズに挑戦するコーナー」や「自由研究などに役立つ工作コーナー」等さまざまなコーナーを体験することによって、多くの人を楽しませた国芳と仙厓の絵に対して、もっと理解と興味を深めることができるようになっています。

<子どもに手渡す時のポイント>

「ジュニア版もっと知りたい世界の美術」シリーズは、現在8巻まで刊行中で、他に「北斎と広重」「ゴッホとゴーガン」等があります。昨年度は福岡市美術館でゴッホの展覧会がございましたが、4月からは九州国立博物館で葛飾北斎の展覧会が予定されています。展覧会に行く前に読むと、美術鑑賞が何倍も楽しめるシリーズです。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

